



令和6年度 山形市立第五小学校 学校経営計画

【目指す学校像】

誰もが安心して学べる魅力ある学校

安全・安心な風土を醸成し、一人一人の子供が安心して自分らしく過ごせる居場所を学校に見出し、予測困難な時代を生きぬくために必要となる資質・能力を身に付けていけるようにします。

【学校教育目標】

運動大好き

自分・友達大好き

勉強大好き

【目指す子供像】 〈運動大好き〉

健康でたくましく生きぬく子供

〈自分・友達大好き〉

自分のよさを知り友達とかかわり合える子供

〈勉強大好き〉

課題をもち自ら学び続ける子供

本校の学校教育目標は、

「運動大好き」(体)

「自分・友達大好き」(徳)

「勉強大好き」(知) を踏襲します。

目指す子供の姿は左に記載したとおりです。

教育基本法(第2条1号)に示されている「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」を身に付けた子供を、本校職員、家庭・地域との連携・協働のもとに育ててまいります。

【目指す教師像】

一人一人の子供を大切にし、温かな思いで支え続ける教師

【教育の重点】

学校として育成を目指す資質・能力

〈知識及び技能〉

○身に付けた知識や技能を学習や生活に生かすことができる。

〈思考力、判断力、表現力等〉

○根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる。

〈学びに向かう力、人間性等〉

○自ら学習を調整しながら、粘り強く取り組もうとする。

私たちの基本姿勢です。教職員一丸となって、一人一人の子供のよさや可能性を最大限に引き出し、それぞれの自己実現を支えてまいります。

学習指導要領では、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の3つの柱で整理しています。本校でも、学校として育成を目指す資質・能力をこの3つの柱から左の3つに焦点化して設定しました。

人と関わる力は、人の関わりを通して培われていくものであり、多くの子供が集う「学校」に期待されている役割であります。

方針の2では、人との関わりを手段として、共感性や協調性、社交性、寛容、受容…といった非認知能力の育成も視野に入れてまいります。

日々の学習の中で、一人一人の子供が自ら考え、選択したり、決定したりする体験を重ねるとともに、人の役に立ったり、大切にされていると実感したりする中で、共感的な人間関係を育むことができるよう、学習指導と生徒指導が一体化した授業づくりを進めてまいります。

経営の方針

- 1 一人一人のよさや可能性が生かされる安全・安心な風土を醸成する。
- 2 関わりを通して多様性を受け入れ、互いに高め合う関係性を構築する。
- 3 社会との連携・協働による組織的な学校教育を推進する。

経営の重点

- 1 多様性を重視した一人一人の子供を主語にする教育活動の推進
- 2 生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導の充実
- 3 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の観点からの授業改善

具体的な取組

《育ちづくり》

- 自他を大切にする「いのちの教育」の充実
- めあての達成と体力の向上を図るチャレンジタイムの設定
- 生活習慣の改善を図る健康教育の充実
- 安全・安心な生活に向けた安全教育の充実

《くらしづくり》

- 一人一人の児童理解に基づく適切な対応
- 子供同士の絆を育む仲良し班(縦割り班)活動の充実
- 特別活動における子供の自主的、実践的な取組の充実
- 地域資源や人材を活用した学習活動の展開

《学びづくり》

- 指導と評価が一体となった授業づくり
- 子供が主体となる情報収集や発信等の機会の設定
- 自己決定の場の提供と振り返りの充実
- 自分に合った方法で取り組む家庭学習の習慣化

本校では、添付した「学校いじめ防止基本方針」に則り、いじめの未然防止、早期発見、いじめに対する措置(早期対応・組織的対応)に取り組んでまいります。「早期発見の在り方」では、見えにくいいじめを察知するための具体的な対応として、「心のアンケート」や「子供を語る会」等をおして一人一人の児童理解を深め、適切な対応がとれるよう努めます。また、6月と11月には、保護者の皆様によるいじめアンケートも実施予定です。ご協力よろしくお願ひします。

子供の「生きる力」を育むには、学校での学びを日常生活で活用したり、ご家庭での経験を学校生活に活かしたりすることがとても大切です。お子さんが学校で学んだことについて、是非、ご家庭で話してみてください。

説明

承認・意見

学校運営協議会

◆地域をつなぐ存在としての学校を意識し、「学校」「保護者」「地域」が個々の役割を担って連携・協働して取り組む。

協議 学校運営の基本方針の承認 学校運営や教職員の任用等への意見など

熟議 本校の子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有する。

協働 「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動する。

⇒ 地域学校協働活動の実施

近年、急激な社会の変化に伴い、学校と地域を取り巻く課題はますます複雑化、多様化しています。そうした状況の中、子供や学校、地域が抱える課題の解決や、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、「社会全体での教育の実現」が大切です。

本校は、これまで地域の方々に支えられながら、本校独自の教育活動を展開してまいりました。昨年度は、創立100周年を地域の皆様とともに祝い、新たな歴史の創造に向けて101歩目のスタートを切ることができました。

今年度も、本校の強みを継承し、地域と一緒に子供を育成する「地域とともにある学校」として、役割を果たしてまいります。